

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点1 高齢者福祉の充実

1. 生活支援ネットワーク事業の充実

- ① 1 1 地区社協のすべてからコーディネーターを配置する  
(コーディネーター20人体制の確立)

平成26年度事業の評価【3】 フォローアップ内容:利用者数及びサポーター数拡大のため、支援内容を再検討する。(アンケート結果の反映)

実施内容	各地区社協部会に打診はしているが、地区内でもマンパワー不足からお願いできる人材がない状況がある。 コーディネーター数は25年度より変わらず10名のまま推移している。 支援実施件数 26年度 160件 27年度 164件 現状では支援実施件数も横ばいの状況が続いており、この人数で対応できている。 支援内容等については、より細かな活動を実施できるよう、利用者・サポーターにそれぞれアンケートをおこない、支援内容等の再検討を行った。
進捗状況	再検討を行い、改正となった新たな支援内容について、民生児童委員や地域ケア会議にて周知し、利用者の掘り起こしを行っている。

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	3	支援実施状況に対し、コーディネーター数は充足している。 支援内容についても、平成27年度中に検討し、28年6月より一部改正。充実が図られている。
課題	コーディネーターの後進育成と地域への認知・浸透。	

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点1 高齢者福祉の充実

1. 生活支援ネットワーク事業の充実

- ② 利用者の支援は、利用者の住んでいる地区のサポーターで支援できる。  
(サポーター100人体制)

平成26年度事業の評価【3】 フォローアップ内容:利用者数及びサポーター数拡大のため、支援内容を再検討する。(アンケート結果の反映)

実施内容	<p>サポーター活動の継続の有無、活動可能な地区や支援可能な内容について再確認のため、6月にアンケートを実施。</p> <p>アンケートの結果、高齢となり支援できない等の理由によりサポーター数が59名から39名へ減少しているが、支援活動においては、全ての支援メニューにおいて、全地区1名以上のサポーター登録を確認できている。依頼数が増えず、半数近くのサポーターに一度も支援依頼ができていないため、積極的な募集は行っていない。</p>
進捗状況	<p>サポーター数については、目標値の4割程度に留まっているが、支援活動については、ほとんどのケースで利用者の住んでいる地区のサポーターが支援をしているため、地域内でのサポート体制はほぼ構築できている。今年度改正となった新たな支援内容について周知し、依頼件数に合わせサポーター数の拡充を検討する。</p>

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	3	<p>支援実施状況に対し、サポーター数は充足している。</p> <p>支援内容についても、平成27年度中に検討し、28年6月より一部改正。充実が図られている。</p>
課題		<p>地域への一層の認知・浸透。</p>

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点1 高齢者福祉の充実

1. 生活支援ネットワーク事業の充実

③自立支援内容の充実。

平成26年度事業の評価【3】 フォローアップ内容:利用者数及びサポーター数拡大のため、支援内容を再検討する。(アンケート結果の反映)

実施内容	<p>より使いやすい制度とするため、利用者・サポーターに実施したアンケートや小田原市の先駆的な事業等も参考に支援内容の再検討を行った。</p> <p>新たな支援内容として、今後利用ニーズの増が見込まれるゴミ出し支援を追加したほか、利用の多い付添いも用途や場所の明確化を図った。</p> <p>平成25年度から試験的に開始した安心電話は、26年度後半から本格的に取り組みを始め、27年度は40件(前年度31件)と増加している。</p> <p>また、「自立支援」の定義を再検証し、本制度が一過性の繋ぎ的な支援であり、継続的な支援については然るべき媒体へ繋いでいくことを確認した。</p>
進捗状況	<p>改正となった新たな支援内容について、民生児童委員や地域ケア会議にて周知を図っている。</p> <p>また、同様の事業を行っている団体との役割の明確化を図るため、今後、話し合いを行っていくこととした。</p>

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	3	平成27年度中にアンケートを実施のうえ、内容を検討し、28年6月より充実が図られている。
課題	社協ヘルパーステーションの自主事業及び他法人・団体が実施する類似サービス事業との内容の棲み分けと連携に加え、地域包括ケアシステム構築に向けた本制度のあり方の再検討。	

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点1 高齢者福祉の充実

1. 生活支援ネットワーク事業の充実

④コーディネーター、サポーター会議の定例化と研修の充実。

平成26年度事業の評価【3】

フォローアップ内容:サポーター会議の定例化を図る。

実施内容	<p>コーディネーター会議は定例化を図り、2か月に1回、平成27年度は5回開催。利用者・サポーターへのアンケート結果の検証を行い、より利用しやすい制度とするため支援内容の検討を行った。</p> <p>サポーター情報交換会に関しては2年ぶりに開催。コーディネーターも半数が参加しサポーターとの意見交換を行っている。</p> <p>サポーター会議は、年に1回程度の定例開催を予定しており、平成28年度も既に開催済。</p>
進捗状況	<p>平成28年度コーディネーター、サポーターの合同会議を開催し、支援内容の変更などの説明と情報交換を行っている。</p> <p>研修充実の面は、平成28年8月26日にコーディネーター、サポーター合同での研修を実施。</p>

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	3	<p>コーディネーター会議はもとより、サポーター会議も定例化が図れている。</p> <p>研修についても、着実に進行している。</p>
課題	<p>コーディネーター ⇒ 社会資源に関する知識の習得。(資源マップ整理後)</p> <p>サポーター ⇒ 支援内容の平準化に向けた研修の開催。</p>	

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点1 高齢者福祉の充実

1. 生活支援ネットワーク事業の充実

⑤高齢者へのサービス一覧表の作成と周知。

平成26年度事業の評価【2】 フォローアップ内容: -
--------------------------------

実施内容	コーディネーター会議にて、町内のごみ収集方法について、町の戸別収集や他事業団体の支援方法についての周知を行った。
進捗状況	地域包括ケアシステム構築へ向けた取り組みの中で、町と連携しサービス資源の一覧表作成を進めている。

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	2	情報収集など徐々に進展はしているが、未だ形になっていない。
課題		社協ヘルパーステーションの自主事業及び他法人・団体が実施する類似サービス事業との内容の棲み分けと連携に向け、早期の作成が必要。

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点1 高齢者福祉の充実

2. 高齢者サロン等見守り事業の推進

①全地区社協にサロン（居場所づくり）を立ち上げる。

平成26年度事業の評価【3】 フォローアップ内容:ほぼ全地区にサロンが立ち上がったため、  
今後は活動内容の充実を図っていく。

実施内容	4月に梅沢地区、10月に元町北地区が立ち上がり、9地区13箇所の開催となった。 上町中町地区においても開設の検討が行われている。 また、各地区社協サロン担当者間での情報共有を目的に、情報交換会を開催。お互いのサロンの開催方法や特色を学びあう機会となった。
進捗状況	サロン開設予定のない下町地区でも、サロンに替わる取組みとしてクラブ活動的な取組みを展開しており、28年度は新たな見守り事業の検討を行うなど、全地区社協で居場所づくりは進んでいる。

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	3	サロンの立ち上げは順調に進んでいる。 内容の充実についても、サロン担当者情報交換会の開催など、 情報共有の機会づくりが進んでいる。
課題	地域包括ケアシステムと関連し、介護予防に資するサロン事業の研究や、 開催頻度の再検討も必要。	

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点1 高齢者福祉の充実

2. 高齢者サロン等見守り事業の推進

②地域に根ざした特色あるサロンづくりの推進

平成26年度事業の評価【3】

フォローアップ内容: サロン担当者交流会等により活動情報を共有化し、内容の充実を図る。

実施内容	地区において、年度計画を立てて他市町村先進事例を見学する動きなどもあり、地区独自のサロンの在り方を模索している。 27年度は、サロン担当者が集う情報交換会を実施し、サロン開催時の様子をスライドで写しながら、各地区の取り組みについての意見交換を行った。
進捗状況	各地区によっては、健康講座を開催したり防犯についての講演を行うなどの工夫が見られている。 今年度もサロン情報交換会を継続し開催する予定。

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	3	1-2-①と同様
課題	1-2-①と同様	

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点1 高齢者福祉の充実

2. 高齢者サロン等見守り事業の推進

③世代間交流、生活支援の組み合わせ、意見交換の機会づくり。

平成26年度事業の評価【2】

フォローアップ内容：－

実施内容	サロンの在り方については、1-2-②に同じ。 地区によっては子供会との連携により、世代間交流が行われている地区もある。 地区の情報交換の場としては、今後地域包括ケアシステムの中でサロン事業に求められる役割を明確化し、町と連携しながら機会づくりに努めていく。
進捗状況	サロンの在り方については、上記のほか、1-2-②に同じ。 生活支援の組み合わせは、困りごとや課題を解決できるよう他機関への情報提供も含め、つなぎの役割ができるよう地区へ生活支援ネットワーク事業の周知を図る。

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	2	サロン事業の定着に伴い、地域住民の交流や情報交換の場としての活用は進んでいる。
課題		地域包括ケアシステムの中でサロン事業に求められる役割の明確化。



【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点1 高齢者福祉の充実

2. 高齢者サロン等見守り事業の推進

④安心電話等による見守り推進。

平成26年度事業の評価【3】

フォローアップ内容:生活様式の多様化などに見合う重層的な見守り体制の確立を目指す。

実施内容	1-1-③のたすけあいネットワークでの安心電話利用者は増加している。
	また、5地区（一色緑が丘、富士見が丘松根、元町南、梅沢、茶屋川匂）において、自宅訪問による見守り事業を行っている。
進捗状況	新規に見守り事業を検討している地区もあり、1-4-①の緊急通報システムや老人クラブ連合会の友愛活動など、重層的な見守り体制づくりが進んでいる。

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	3	安心電話利用者は増加が続いており、地域における訪問事業なども含め、重層的な見守り体制が徐々に進展している。
課題		見守り活動資源をはじめ、各社会資源を統合したマップの作成による見守り側への相談・助言機能の付加。

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点1 高齢者福祉の充実

3. アクティブ高齢者づくり事業の推進

①シニア層のボランティア活動や地域福祉活動への参加を支援し、元気な高齢者づくりに取り組む。

平成26年度事業の評価【3】 フォローアップ内容:2025年問題を見据え、1-3-①-a.b.c.各項目の更なる取組みにより、支え合う地域の担い手としての高齢者づくりを推進する。

実施内容	<p>社協登録ボランティア団体は9団体から10団体へ増え、ボランティア大学や福祉のつどい等で活動紹介の機会を作っている。</p> <p>また、地区社協が開催する健康講座への参加人数は、年々増加しているとの報告も受けており、健康への意識は高まっていると思われる。</p> <p>健康講座へは、町健康づくり課(旧健康長寿課)から血管や脳年齢を調べる機器の貸し出しや講師の派遣などが行われ、健康増進へ向けた情報の提供も行えている。</p>
進捗状況	<p>健康増進へ向けた体操等の検討が始まる地区もあり、地区独自での活動が主体的に行われるよう後方支援していく。</p>

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	2	<p>ボランティア大学によるボランティアの増加や、地区社協部会への健康講座等の情報提供は、元気な高齢者づくりに繋がっているが、地域福祉活動の総体的な人材難は解消されていない。</p>
課題		<p>地域資源マップの早急な整備と活動内容の一層の周知。</p>

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点1 高齢者福祉の充実

3. アクティブ高齢者づくり事業の推進

①-a 町や各団体と、シニア層向け健康講座、趣味活動等について情報の共有化。

平成26年度事業の評価【3】

フォローアップ内容:行政と連携し情報の一元化を図りつつ、資源マップ化を目指す。

実施内容	1-3-1と同様。
進捗状況	同上

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	2	1-3-1と同様。
課題	資源マップの早急な整備。	

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点1 高齢者福祉の充実

3. アクティブ高齢者づくり事業の推進

①-b シニア層の活動の場の確保。

平成26年度事業の評価【3】

フォローアップ内容:行政と連携し情報の一元化を図りつつ、資源マップ化を目指す。

実施内容	ボランティアセンターの講座の多くは、日中開催ということもありシニア層の受講生が大半を占めている。
	社協登録ボランティア団体は9団体から10団体へ増え、ボランティア大学等で活動の機会を作っている。
進捗状況	また、高齢者サロン、地域ミニ・デイサービス事業もボランティア活動の機会となっている。
	地域ミニ・デイサービス 11地区 15箇所 年間実施回数205回
	高齢者サロン 9地区 13箇所 年間実施回数203回

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	3	ボランティアやサロンなど、活動の場は着実に増加している。
課題		資源マップの早急な整備による活動の場への人材誘導。

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点1 高齢者福祉の充実

3. アクティブ高齢者づくり事業の推進

①-c シニア層向けの意識改革やボランティア活動、地域福祉活動参加のための講座開設。

平成26年度事業の評価【3】 フォローアップ内容:1-3-①-aの取り組みによる資源マップ化と情報提供を図りつつ、地域のニーズ確認も含めた活動を検討する。

実施内容	<p>ボランティア大学では、社協登録ボランティア10団体が講義や実際の福祉体験を行うなど、講座内容の充実に努めている。</p> <p>その他、町からの受託による手話講習会や傾聴ボランティア講座など、地域福祉活動への参加に向けた講座を実施している。</p>
進捗状況	<p>福祉ボランティア講座は継続して実施しており、ボランティア大学の受講生が社協登録ボランティアへ登録されるなど、一定の効果は得ている。地域福祉活動参加へ向けた講座は、地域包括ケアシステムの構築へ向けた取り組みの中で、町と連携し開催の検討を行う必要がある。</p>

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	2	<p>ボランティア講座については順調に実施しているが、地域福祉活動参加のための講座や地域資源マップによる情報提供など、活動参加への誘導が遅れている。</p>
課題		<p>町と連携した資源マップの早急な整備に加え、地域包括ケアシステムと連動して、地域福祉への参画の必要性を周知。(地域及び自己のため) また、各講座の受講後における実践活動へのコーディネート。</p>

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点1 高齢者福祉の充実

4. 緊急時対応体制の整備

①緊急通報システムの推進。

平成26年度事業の評価【3】

フォローアップ内容:周知活動を継続し、件数増を目指す。

実施内容	平成27年3月の広報誌に掲載し、4月に5件の新規設置へ繋がった。 (平成26年3月号にも掲載。4月4件の新規設置) また、地域ケア会議や民生委員等の関係機関へ呼びかけを行い、平成27年度の新規設置は合計19件となった。 周知による効果は得られているものの、撤去数が24件であったため設置件数は166件⇒161件と減少している。
進捗状況	利用申請書・同意書を分かりやすく簡素化した様式へ変更し、改めて民児協、地域ケア会議にて周知を行っている。 今後も社協ホームページなどの媒体を利用し申請書用紙の、広報活動を続けていく。

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	3	件数は横ばいながらも、制度の改善と周知が図れている。
課題		同業他社の緊急通報システム（類似システム）の検証。

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点1 高齢者福祉の充実

4. 緊急時対応体制の整備

②地区防災での地区社協の役割整備。

平成26年度事業の評価【3】

フォローアップ内容: 行政・自治会等との問題意識の共有により、地区社協の役割を明確化する。

実施内容	各地区自主防災組織は、町の防災指針に沿い自治会、町内会を中心に組織化されており、町行政の組織と別法人の社協の位置付けがなく、地区社協の役割は各地区の判断に任されている。 27年度は、町防災と社協等の役割分担等の協議は行っていない。
進捗状況	地区防災の中で、地区社協が担う部分があるのか情報収集を行い、地区社協部会で検討をする。地区社協で課題整理を行ってから、地区社協や災害ボランティアグループの役割を町と協議していくことが必要と思われる。

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	-	町は、地域の防災活動について自治会及び民生委員まで役割を定めており、地区社協の役割は、各地区の実情に応じたものとなる。そのため、評価対象外とする。
課題		

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点1 高齢者福祉の充実

4. 緊急時対応体制の整備

③緊急時対応。(町、社協、安心電話での安否確認)

平成26年度事業の評価【3】

フォローアップ内容:関係機関の連携による見守りネットワークの構築を目指していく。

実施内容	社協内の緊急時に必要となる安否情報に関しては、それぞれの担当により整理されているが、共通の対応資料の作成には至っていない。
進捗状況	今後は、各部門ごとの利用者情報を整理し、災害時の対応書類の作成について検討をする。また、個人情報の取扱い方法に注意しながら、町をはじめとする他団体との情報共有についても検証を進めていく。

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	2	安否確認のためのリストについては、各セクションで整理できているが、行動のシミュレーションができていない。
課題	社協本体の災害時マニュアル整備。	



【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点1 高齢者福祉の充実

5. 地域福祉自主事業の支援

①地域福祉自主事業支援制度の創設。

平成26年度事業の評価【H27新規追加項目】

フォローアップ内容: -

実施内容	<p>地区社協の活動として、先駆的に福祉ネットワーク活動を行っていた百合が丘地区において、地区社協、自治会、民生委員、老人クラブ等の関係団体が一堂に会し、地域ぐるみでの新たな協議の場が設置され、活動費や情報提供のサポートを実施した。</p> <p>活動母体の地域福祉協議会は9月に発足され、地区内での団体活動の紹介や現状の活動報告や、役員の意識の向上、相互理解を深めるための先進事例視察や講演会が実施された。</p> <p>また、同地区における社会資源整理や、住民ニーズを確認するためのアンケート調査についても検討された。</p>
進捗状況	<p>住民アンケートについては、平成28年度に実施されている。</p> <p>また、社会資源整理については、町と連携し情報共有システムの利用に向けた調整がなされている。</p>

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	2	地域福祉自主事業実施団体等補助金交付要綱を制定し、1地区への支援を実施。
課題		地域包括ケアシステム構築に向けた社協の役割の整理に加え、地区以外の団体の自主事業への支援のあり方や周知方法が未検討。

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点1 高齢者福祉の充実

5. 地域福祉自主事業の支援

②各地域における横断的組織立ち上げの検討・推進。

平成26年度事業の評価【H27新規追加項目】

フォローアップ内容: -

実施内容	平成27年度は、1-5-①に記載のとおり百合が丘地区で横断的組織が立ち上がった。 今後地域包括ケアシステムの構築へ向けた取り組みの中で、町の協議体圏域の考え方や、社協の役割が定まり次第、その方針に従って当事業も推進する必要がある。
進捗状況	同上

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	2	横断組織が1地区で立ち上がっている。
課題	地域包括ケアシステム構築に向けた社協の役割の整理。 地域福祉活動に資する組織の横断的連携の機運づくり。	

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.6.20	担当者	石塚
-----	----------	-----	----

重点2 福祉等ボランティア活動の充実

1. ボランティア活動の普及・啓発

① 町ボランティア大学(入門講座・一般講座)の充実

平成26年度事業の評価【3】  
フォローアップ内容:受講しやすい講座スタイルを検証しつつ、更なる充実を図る。

実施内容	<p>第4回ボランティア大学入門講座を開催(5月12日、19日、26日、6月2日、9日、16日の6日間、9:30～11:50) 受講者は12名 内容は、登録ボランティア団体による体験講座(車椅子、点字、音声訳、手話、要約筆記)と団体の活動紹介。ボランティア活動、傾聴ボランティア、認知症、発達障がいの各講座。 それ以外のボランティア講座として以下の2つを実施した。 傾聴ボランティア入門講座(10月20日、28日、11月11日、25日の4日間、13:30～15:30) 受講者は12名 災害ボランティアコーディネーター養成講座(初級)(10月30日、11月6日、13日、20日の4日間、13:00～15:30) 受講者は4名</p>
進捗状況	<p>ボランティア大学は、ボランティア経験者の受講が多いものの、町内の福祉系ボランティア活動を知る良い機会となっている。また、受講者のうち、平成27年度は2名、28年度は6名が団体に加入して活動を始めたことに加え、受講生のほぼ全員が他講座の受講や団体の見学・体験を希望されるなど、底辺を広げることができている。</p>

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	3	<p>各団体、回を重ねるごとに内容の充実が見られる。 平成28年度より、傾聴講座や災害ボランティア講座を休日開催とするなど、若年層も受講しやすいスタイルへと改善している。</p>
課題	<p>開催日数、開催方法の再検討。(団体による自主開催や活動場所の見学方式など)</p>	

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.6.20	担当者	石塚
-----	----------	-----	----

重点2 福祉等ボランティア活動の充実

1. ボランティア活動の普及・啓発

②啓発活動の推進。(ボランティアニュースの発行/ホームページでの情報発信)

平成26年度事業の評価【3】  
フォローアップ内容:ボランティアニュースの発行が未実施。他市町の発行状況等を検証する。

実施内容	<p>重点2-2-③に記載しているように、広報紙、ホームページ、講座等で登録ボランティア団体の活動内容を紹介することで、ボランティア活動全般の啓発を行っている。</p> <p>ホームページでは、声の広報の音声訳ファイルなどコンテンツの充実を図っている。</p> <p>ボランティアニュースの発行はできなかったが、情報交換会等で各団体活動内容の情報や写真の提供を募っており、今後の情報発信の準備をしている。</p>
進捗状況	<p>ホームページに掲載している情報は拡充されている。今後は写真やイラストを追加し、よりわかりやすい、読みやすいかたちでの情報発信を行いボランティア活動の啓発を進めたい。</p> <p>ボランティアニュースについては、社協にのみや、ホームページ、メールニュースの活用を検討する。</p>

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	3	<p>ホームページでの情報発信のほか、ボランティアニュースに代わる手段として、団体紹介冊子の作成・配布やボランティア大学開催など、啓発が図れている。</p>
課題		<p>実際のボランティア活動風景や成果、ボランティアを受けた施設からの声、ボランティア大学受講生や中学生福祉体験に参加した生徒の感想など、視点を変えた内容の検討。</p>

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.6.20	担当者	石塚
-----	----------	-----	----

重点2 福祉等ボランティア活動の充実

1. ボランティア活動の普及・啓発

③ユース向け活動の推進。(中学生福祉体験)

平成26年度事業の評価【3】  
フォローアップ内容:未実施中学校へのアプローチを検討する。

実施内容	<p>二宮西中学校1年生が総合学習で福祉体験を行う際の支援を行った。 (8月28日に1年生90名全員が福祉施設で体験学習を行った)</p> <p>①町内と大磯(恒道会)の13施設と受け入れ可能人数等の調整を行った。 ②学校からの依頼により事前講習会(高齢者との接し方)として、社協ホームヘルプステーション吉澤CMが講演を行った(6月12日) ともしびショップなのはなで、中学生の福祉体験の受入(二宮中、西中から1名ずつ)、吾妻山菜の花ウォッチング期間の模擬店開設時に二宮高校、星槎学園からのボランティアの受入を行った。</p>
進捗状況	<p>中学生の福祉体験について、施設側も受け入れに積極的であり、限定的ではあるが、学校、施設、社協が連携して取り組む体制が出来ている。 28年度には学童の一部が主体となって福祉体験を実施しており、若い世代向けの活動は広がりを見せている。(社協は協力)</p>

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	2	町内中学校2校のうち、1校では、毎年総合学習に取り入れられるようになったが、もう1校では単発的な福祉体験に留まっている。
課題	未実施中学校への継続的なアプローチ。	

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.6.21	担当者	石塚
-----	----------	-----	----

重点2 福祉等ボランティア活動の充実

2. ボランティア団体等の支援

① ボランティア連絡会の再結成

平成26年度事業の評価【2】 フォローアップ内容: -
--------------------------------

実施内容	<p>登録ボランティア団体が1団体増え、10団体になった。</p> <p>定期的に登録ボランティア団体の情報交換会を開催して、団体同士の情報交換や協力体制の構築を進めている。27年度は5回情報交換会を開催し、その中で、児童部から布の寄付を呼びかけ、他団体からの協力を得た事例がある。</p> <p>また、ボランティア大学等の講座でボランティア団体のPRをする場を設けており、講座終了後にボランティア団体に加入し活動をはじめ人も増え、ボランティアの減少に歯止めがかかっている。</p>
進捗状況	<p>情報交換会や講座等の開催を通じて団体同士のつながりも出来て、以前に比べ登録団体としての一体感は強くなっているように感じる。</p> <p>しかし、各団体それぞれの活動で手一杯ということもあり、自主的に各団体をまとめて活動をしていく雰囲気にはなっていないため、連絡会再結成には解消しなければならない課題は多い。</p>

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	2	ボランティアグループへの育成支援は継続的に実施しているが、連絡会再結成に向けた機運は高まっていない。
課題		ボランティアグループのより一層の活性化。

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.6.21	担当者	石塚
-----	----------	-----	----

重点2 福祉等ボランティア活動の充実

2. ボランティア団体等の支援

②登録ボランティア団体の育成と支援の充実

平成26年度事業の評価【3】 フォローアップ内容:重点1-3-①-aの資源マップ化と連動し、よりスムーズなマッチングを目指していくとともに、コーディネート業務のマニュアル化を図る。

実施内容	<p>登録ボランティア団体は1団体増えて10団体となった。</p> <p>ボランティア講座の中に、団体のPRを組み込む等新規のボランティア獲得のための努力をしている。</p> <p>また、ボランティア大学とふれあい福祉のつどいの福祉体験スタンプラリーを開催し、ボランティア団体の活動の場を提供している。両事業ともに高い評価を得ており、社協としてもプラスの部分がある。</p> <p>その他、活動費の一部助成、社協会議室・備品の貸与、ホームページ等での情報発信、事故によるケガへの備えとしてボランティア活動保険の加入促進等の支援を行っている。</p>
進捗状況	<p>講座等を通じてボランティア増加のための支援は成果を上げている。</p> <p>各団体自主的な活動を行っているため、今後は情報提供、情報発信、施設との調整、活動費助成等の後方支援を行い、団体が活動しやすい環境づくりをする必要がある。</p>

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	3	9団体→10団体に増加し、計画期間中にボランティア情報交流会参加団体が4団体増加した。ボランティア大学の開催などにより育成支援も進んでいる。
課題	ボランティアニーズの把握とコーディネート。	

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.6.20	担当者	石塚
-----	----------	-----	----

重点2 福祉等ボランティア活動の充実

2. ボランティア団体等の支援

③活動紹介・広報活動の充実(ボランティアニュースの発行/ホームページでの情報発信)

平成26年度事業の評価【3】 フォローアップ内容:重点1-3-①-aの資源マップ化と連動し、よりスムーズなマッチングを目指していくとともに、コーディネート業務のマニュアル化を図る。

実施内容	<p>ホームページでは登録ボランティア団体ごとの情報を掲載した。</p> <p>また、平成28年2月より、登録ボランティア団体「にのみや声の広報」の音声訳ファイル(社協にのみや、広報にのみや、湘南にのみや議会だより、お知らせ版)の掲載を始めた。その他、ボランティア講座の情報、団体のイベント情報(手話サークルのオープンサークル、講演会)、団体からの呼びかけ(ミシン寄付)等を掲載した。</p> <p>ボランティアニュースは発行に至っていないが、ボランティア大学を始め各講座、ふれあい福祉のつどいでの団体紹介や社協事務所のパネル設置 広報紙への記事掲載等で情報発信を行った。</p>
進捗状況	<p>ホームページでは、ボランティア活動の成果である音声訳ファイルや団体からの情報(イベント、呼びかけ)の掲載を新たに行うなど情報発信を進めている。また、団体にも活動内容等の情報提供を求めており、今後もコンテンツの充実を図っていく予定である。</p> <p>ボランティアニュースについては、ホームページの活用を検討する。</p>

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	3	ボランティアニュースの発行に代わる手段として、広報紙の有効活用やその他の方策を実施するなど、情報発信が図れている。
課題		実際のボランティア活動風景や成果、ボランティアを受けた施設からの声、ボランティア大学受講生や中学生福祉体験に参加した生徒の感想など、視点を変えた内容の検討。



【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.6.21	担当者	石塚
-----	----------	-----	----

重点2 福祉等ボランティア活動の充実

2. ボランティア団体等の支援

④ 当事者団体の支援体制整備

平成26年度事業の評価【3】  
フォローアップ内容: 当事者団体の自立に向け支援を継続する。

実施内容	社協で老人クラブ連合会、手をつなぐ育成会、母子福祉協議会、身体障害者福祉協会の4つの当事者団体の事務局を担い支援を行っている。 現在、各団体で出来ることは自身で担い、自立した活動が出来るよう町との連絡調整等社協が支援する必要があると思われる部分の支援を行っている。
進捗状況	各団体の自立に向けた支援を行っており、以前は決算書作成のために社協職員が長時間一緒に作業をしていたことがあったが、27年度は団体で出来ることが多くなっており、一定の成果が出ていると思われる。 また、講座開催等による新規ボランティアの増加も当事者団体支援体制充実につながると思われる。

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	3	団体において自立している部分を尊重しつつ、必要な支援を実施している。
課題	支援内容の精査とマニュアル化。	

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.6.21	担当者	石塚
-----	----------	-----	----

重点2 福祉等ボランティア活動の充実

2. ボランティア団体等の支援

⑤ 当事者団体と登録ボランティア団体の連携

平成26年度事業の評価【3】 フォローアップ内容: 重点1-3-①-aの資源マップ化と連動し、よりスムーズなマッチングを目指していくとともに、コーディネート業務のマニュアル化を図る。

実施内容	<p>二宮町身体障害者福祉協会のスポーツ大会等参加、総会・新年会開催時に、登録ボランティア団体の心身障がい部が移動支援を毎年行っており連携が図れている。</p> <p>また、団体同士の連携ではないが、にのみや声の広報の活動は視覚に障がいを持つ人が、手話サークルの活動は聴覚に障がいを持つ人が暮らしやすい環境づくりの一助となっている。</p>
進捗状況	<p>当事者団体とボランティア団体で連携が図れる部分については、既に連携が図れている。</p> <p>また、それぞれの団体の活動が障がいを持つ当事者の支援につながっている部分もある。</p>

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	2	計画期間中、社協を介した個別の連携は徐々に進展しているが、団体間の連携に向けた積極的なコーディネートに至っていない。
課題		ボランティア団体紹介冊子を活用した連携に向けてのコーディネート。

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.6.23	担当者	石塚
-----	----------	-----	----

重点2 福祉等ボランティア活動の充実

3. ボランティアセンターの充実

① ボランティアコーディネートの充実と情報発信力の強化

平成26年度事業の評価【3】 フォローアップ内容: 重点1-3-①-aの資源マップ化と連動し、よりスムーズなマッチングを目指していくとともに、コーディネート業務のマニュアル化を図る。

実施内容	<p>他の項目にも記載したが、二宮西中学校の福祉体験学習の支援として福祉施設との調整を行った。</p> <p>また、ボランティアをしたいという人とボランティア団体、ボランティアを求めている施設等とボランティア団体との連絡調整を行っている。</p> <p>平成27年度は、老人福祉部と話し相手の2団体がつぐみの丘 commons でボランティアをすることになった。(入所者と一緒に歌と体操)</p> <p>情報発信について、ホームページにボランティア団体の活動内容や告知を掲載し、ボランティア関係情報の周知をしている。</p>
進捗状況	<p>コーディネートについて、要望に対してその都度対応できているが、受け入れ先や登録団体で対応できること等、情報の蓄積が必要である。</p> <p>情報発信について、ネットも含めて発信できる媒体は揃ってきているので、登録団体等からの情報収集を進めたい。</p>

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	2	ホームページへの団体紹介及び告知情報の掲載や、広報紙の有効活用、紹介冊子の新規作成など、情報発信は進展しており、個別のコーディネーターも散見されるが、受動的なものが多い。
課題		ボランティア団体紹介冊子等の有効活用による積極的なコーディネート。

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
 (計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.6.22	担当者	石塚
-----	----------	-----	----

重点2 福祉等ボランティア活動の充実

3. ボランティアセンターの充実

② ボランティアコーディネーターの育成及び配置

平成26年度事業の評価【3】 フォローアップ内容: 重点1-3-①-aの資源マップ化と連動し、よりスムーズなマッチングを目指していくとともに、コーディネート業務のマニュアル化を図る。

実施内容	<p>26度後期に引き続き常勤の正規職員がボランティア事業担当として配置されている。</p> <p>他の事業との兼務のため、町社協の会議や行事の関係で研修、他市町村VCとの連絡会（県社協主催）に参加出来ないなど、コーディネーターとしての育成は進んでいないが、情報発信等進展している部分もある。</p> <p>ルーチン化がしやすい一部業務（ボランティア活動保険受付等）はマニュアル化を図った。</p>
進捗状況	<p>担当者は変わったが、正規職員を配置したことにより、中長期的な視点での安定した育成と事業運営が見込まれる。</p> <p>県内で実施される研修や他市町村VCとの連絡会等を活用し、担当職員のコーディネーターとしての能力向上を図る必要がある。</p>

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	3	<p>正職員（兼務）の配置等、中長期的な視点での体制を整え、今後の育成・強化への土台はできている。</p>
課題	<p>コーディネート業務のマニュアル化。</p>	

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.6.21	担当者	石塚
-----	----------	-----	----

重点2 福祉等ボランティア活動の充実

3. ボランティアセンターの充実

③ ボランティアセンターの有効活用

平成26年度事業の評価【3】 フォローアップ内容:重点1-3-①-aの資源マップ化と連動し、よりスムーズなマッチングを目指していくとともに、コーディネート業務のマニュアル化を図る。

実施内容	<p>ボランティアセンターには、コピー機1台、インターネットが利用可能なパソコン1台、円テーブル1式、掲示・配架スペースがあり、各団体の広報、資料作成、軽微な打ち合わせに活用されている。</p> <p>コピー機は登録ボランティア団体を始め計24団体は使用料無料で、コピー用紙を用意すればコピーが出来るため、使用量が多く、年間で約45,000枚の利用があった。(老人クラブ連合会は年額で12,000円の負担)</p> <p>また、掲示・配架スペースでは各団体のパネルやチラシを設置し、情報発信を行った。</p>
進捗状況	<p>上記のようにコピー機の需要は大きい。また、チラシ等の掲示、配架の希望も多くなっている。地区社協のパネルやボランティア団体の情報を立ち止まって熱心に見ている人も多く、ボランティアセンターの活用は進んでいる。ちらしの配架については、量が多く雑然としているため、今後はスタンドの設置等、見やすくなる工夫が必要である。</p>

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	3	<p>ボランティアセンターの活用が各団体に浸透している。</p> <p>また、会議室も利用頻度が増加しており、有効活用が進んでいる。</p>
課題	<p>OA機器の使用マニュアルや必要備品の常備など、マニュアル化の推進による自立の促進。</p>	

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.6.21	担当者	石塚
-----	----------	-----	----

重点2 福祉等ボランティア活動の充実

4.災害ボランティアの育成・組織化

①災害ボランティアコーディネーター講座の実施と育成

平成26年度事業の評価【3】  
フォローアップ内容:受講者増を目指して、講座スタイルの再検証を行う。

実施内容	<p>災害ボランティアコーディネーター養成講座（初級編）を開催した。 (10月30日、6日、13日、20日の4日間 13:00～15:30) 4名受講 また、湘南ブロック社協合同の災害時を想定した図上訓練に二宮災害 ボランティアネットワーク(NSVN) 会員が6名参加した。 その他、NSVNが福島へのボランティアバスの運行、災害ボランティア センターの立ち上げ訓練を実施した際、バス参加者の受付や立ち上げ訓練 使用書類の修正等に協力した。</p>
進捗状況	<p>周知不足等で養成講座の受講者が少なかったため予定していた中級編の 開催を見送った(中級は初級修了者を対象とするため)。 災害VC立ち上げ訓練を団体独自で実施する等、人材の育成は進んでい る。今後は、災害VC設置に関わる事項のマニュアルの整備を進める必要 がある。</p>

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	3	<p>講座については、定例的な開催が図れており、開催日を平日から 休日に変更するなど、開催スタイルの改善も見られる。コーディネ ーターのあり方は、災害ボランティアセンターのあり方も含め、 災害ボランティアネットワークと共に検討を進めている。</p>
課題	<p>初級から中上級への繋ぎと災害ボランティアセンターのあり方の検証。</p>	

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.6.21	担当者	石塚
-----	----------	-----	----

重点2 福祉等ボランティア活動の充実

4.災害ボランティアの育成・組織化

②災害ボランティアリーダーの育成と支援

平成26年度事業の評価【3】

フォローアップ内容:災害時における社協の役割を明確化する。

実施内容	ボランティア大学や災害ボランティアコーディネーターの講座開催、団体の活動により、災害時に活動するボランティアの育成をしている。また、災害時に各地から参集するボランティアの取りまとめ役となるリーダーについては、災害ボランティアセンターやコーディネーターのあり方も含め、社協登録ボランティア団体として支援している災害ボランティアネットワークと検討を進めている。
進捗状況	上記のとおり、リーダーの育成については、災害ボランティアセンターやコーディネーターのあり方も含め、ボランティア団体と検討を進めている。

記入日		評価者	企画運営部会
-----	--	-----	--------

評価	3	各種講習会により災害ボランティアが育成されている。また、取りまとめ役となるリーダーについても、2-4-①のほか、団体育成により進展している。
課題		災害ボランティアネットワークとの連携によるセンター立ち上げ訓練のシミュレーションや必要となるインフラ・資材の早期検証。

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.6.27	担当者	下條
-----	----------	-----	----

重点3 社会福祉協議会組織の強化

1. 地域福祉活動の普及・啓発

- ① (仮称) 地域福祉大学講座の企画と開催  
(地域福祉リーダーの育成、地区社協役員対象の講座実施)

平成26年度事業の評価【2】 フォローアップ内容: -
--------------------------------

実施内容	役職員等の知見を深めるため、以下の研修等を実施。
	① H27.4.15 地域包括ケアシステムに関する研修 対象：理事
	② 6.10 // 対象：地区社協部会長
	③ 7.8 社会福祉法人制度改革に関する説明 対象：理事
	④ 3.9 決算書の見方について 対象：湘南ブロック社協役員
	⑤ H28.7.7・14 社協の役割・社会福祉法改正等 対象：役員・評議員
	⑥ 7.22 社協実施事業・決算書の見方 対象：役員・評議員
	⑦ 8.26 認知症林 <sup>o</sup> - <sub>o</sub> 養成研修 対象：たすけあいネットワーク関係者
進捗状況	(仮称) 地域福祉大学講座の開催には至っていないが、地域福祉の牽引役ともいえる役員・評議員や地区社協部会長への研修は進めている。
	地域福祉リーダーについては、中長期的には育成が必要と思われるが、「地域福祉」の圏域のあり方、自治会や民生委員等との役割分担、各種社会資源など、先に整理すべき事項を行政と協議している段階。

記入日	H28.9.1	評価者	企画運営部会
-----	---------	-----	--------

評価	3	地域住民を広く受け入れる地域福祉大学としての開催はしていないが、地域福祉の牽引役ともいえる役員・評議員や地区社協部会長等への研修を充実・実施した。
課題	地域包括ケアシステムの構築に向けた地域福祉に関する住民意識の啓発及び協議体の核となる人材の育成。(行政と連携して)	



【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.6.27	担当者	下條
-----	----------	-----	----

重点3 社会福祉協議会組織の強化

1. 地域福祉活動の普及・啓発

② 研修会の実施

平成26年度事業の評価【2】 フォローアップ内容: -
--------------------------------

実施内容	役職員等の知見を深めるため、以下の研修等を実施。
	①H27.4.15 地域包括ケアシステムに関する研修 対象：理事
	② 6.10 // 対象：地区社協部会長
	③ 7.8 社会福祉法人制度改革に関する説明 対象：理事
	④ 3.9 決算書の見方について 対象：湘南ブロック社協役職員
	⑤H28.7.7・14 社協の役割・社会福祉法改正等 対象：役員・評議員
	⑥ 7.22 社協実施事業・決算書の見方 対象：役員・評議員
	⑦ 8.26 認知症サポーター養成研修 対象：たすけあいネットワーク関係者
進捗状況	地域福祉に特化した研修会は実施できていないが、社協関係者向けに、上記研修を実施し、社協を取り巻く社会情勢の知見を深めていただいている。

記入日	H28.9.1	評価者	企画運営部会
-----	---------	-----	--------

評価	3	地域福祉の牽引役ともいえる社協役員・評議員や地区社協部会長向けの研修を実施した。
課題		地域包括ケアシステムの構築に向けた地域福祉に関する住民意識の啓発及び協議体の核となる人材の育成。(行政と連携して)

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.6.27	担当者	下條
-----	----------	-----	----

重点3 社会福祉協議会組織の強化

2. 町社協事務局組織の活性化・拡充

① 現在の事業・活動の見直し。(18事業の現状と課題抽出)

平成26年度事業の評価【2】  
フォローアップ内容: -

実施内容	<p>18事業の内容の見直し状況が可視化できるよう、年度ごとに作成する事業計画書の書式について、地域福祉活動計画における位置づけや評価、評価に対する目標設定や見直しを行えるよう改良した。(※PDCAサイクルの導入)</p> <p>平成29年4月施行を予定している第2次活動計画においては、策定過程において、町の地域福祉計画の中での社協の役割を再確認し、必要に応じた事業の整理統合も実施する。</p> <p>※PDCAサイクル Plan：地域福祉活動計画⇒Do：実施⇒Check：評価⇒Action：翌年度へ反映</p>
	<p>PDCAサイクルの体勢を整えた段階。</p>
進捗状況	

記入日	H28.9.1	評価者	企画運営部会
-----	---------	-----	--------

評価	3	<p>PDCAサイクルを導入し、年度ごとの事業精査の体制づくりができた。</p> <p>事業の見直しについては、第2次地域福祉活動計画策定過程で実施を予定している。</p>
課題		<p>町の福祉施策の中における社協の役割の明確化に加え、人員配置も含め事業内容の見直しに向けた町との調整。</p>

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.6.27	担当者	下條
-----	----------	-----	----

重点3 社会福祉協議会組織の強化

2. 町社協事務局組織の活性化・拡充

② 人的確保の工夫。

平成26年度事業の評価【2】  
フォローアップ内容：－

実施内容	県社協や町からの人件費付きの事務受託や補助事業の獲得により、人員を確保している。 また、限られた人材の中で、職員のレベルアップや、各団体の自立促進等、業務の合理化・効率化を図っている。
進捗状況	3-2-①に記載のとおり、第2次活動計画の策定過程において、町との協議を進め、社協に求められる役割を明確にすることで、現在の事業内容を見直し、中長期的に事業や組織のスリム化を検討する。

記入日	H28.9.1	評価者	企画運営部会
-----	---------	-----	--------

評価	2	事業見直しが優先のため、人的確保に進展はない。
課題	町の福祉施策の中における社協の役割の明確化に加え、人員配置も含め事業内容の見直しに向けた町との調整。	

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	鈴木
-----	---------	-----	----

重点3 社会福祉協議会組織の強化

2. 町社協事務局組織の活性化・拡充

③ 職員研修計画

平成26年度事業の評価【2】  
フォローアップ内容：－

実施内容	<p>事務局職員が参加する研修は主に県社協で開催されるものに参加することを想定し、県社協より、年度当初に主要な研修の年間計画が発表されるので、それを二宮町社協の研修計画としている。</p> <p>平成27年度は、職員事務連絡用ホワイトボードへの掲示と回覧を行い周知を図った。</p>
進捗状況	<p>各種研修の開催要項をすべて局内で回覧・掲示し、担当者それぞれが個々のスキルに合わせた研修を選択できるように改善した。</p> <p>これにより、初級・中級など段階的なものや、地域包括ケアシステム関連など時事的な研修などへの積極参加が見られた。</p>

記入日	H28.9.1	評価者	企画運営部会
-----	---------	-----	--------

評価	2	一部職員においては順調なステップアップが図られているが、可視化された計画の策定に至っておらず、計画的かつ総合的なステップアップに結びついていない。
課題	研修計画の作成。	

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	鈴木
-----	---------	-----	----

重点3 社会福祉協議会組織の強化

2. 町社協事務局組織の活性化・拡充

④勤務環境等の整備

平成26年度事業の評価【3】  
フォローアップ内容:給与規程の見直しなど、更なる環境整備を図る。

実施内容	<ul style="list-style-type: none"><li>●H28年度衛生委員会設置にむけて情報収集を実施した。</li><li>●H28年度のストレスチェックの実施にむけて情報収集を実施した。</li><li>●H28年度に社会保険委員を選出するための情報収集を実施した。</li><li>●H28年度に健康保険・年金委員（企業における社会保険の身近な相談役）任命のための情報収集を実施した。</li></ul>
進捗状況	事業計画、予算も通り、平成28年度実施に向けて取組体制ができた。 なお、給与規程の整備がまだ遅れており、喫緊の課題として早急に取り組む必要がある。

記入日	H28.9.1	評価者	企画運営部会
-----	---------	-----	--------

評価	2	労働衛生面、福利厚生面からの環境整備は進展が見られるが、給与規程見直しなど、労働条件面の整備が遅れている。
課題	職員の身分や給与規程等の早期整備。	

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.6.27	担当者	下條
-----	----------	-----	----

重点3 社会福祉協議会組織の強化

3. 地区社協の機能強化

- ① 地区社協の役割及び機能の明確化。  
(行事主体から見守り・支え合い活動へ)

平成26年度事業の評価【3】 フォローアップ内容:地域包括ケアシステムなど、行政や自治会等との協働体制や、役割分担を明確化させていく。

実施内容	地域福祉活動計画策定後、各地区社協部会においては、活動計画に即した複数年計画を策定している。			
	これにより、地区社協事業のあり方も、行事主体型から、サロンなど、より見守りに資する事業へとシフトが進んでいる。			
		H25	H26	H27
	サロン開設地区数	6	7	9
	サロン開設数	10	11	13
進捗状況	第2次地域福祉活動計画の策定や、地域包括ケアシステム構築の過程で、地域における地区社協の役割も明確化させていく。			

記入日	H28.9.1	評価者	企画運営部会
-----	---------	-----	--------

評価	3	地区社協の活動も見守りに重点がシフトしている。 地区社協の役割の明確化や自治会等との協働体制については、地域包括ケアシステムの構築にあわせ、町と連携し検討していく。
課題	町を主体とした地域包括ケアシステムの構築にあわせ、地区社協活動のあり方の再検証。	

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点3 社会福祉協議会組織の強化

3. 地区社協の機能強化

② 組織を持たない地区社協への支援。(問題点の抽出)

平成26年度事業の評価【1】  
フォローアップ内容: -

実施内容	現状で、すべての地区社協が独自の組織運営をおこなっている。
進捗状況	

記入日	H28.9.1	評価者	企画運営部会
-----	---------	-----	--------

評価	-	「組織を持たない」の定義が明確ではなく、現状ですべての地区社協が組織化されているため、評価対象外とする。
課題		

【別紙1】

地域福祉活動計画進捗状況シート  
(計画期間全体 平成25～平成28年度)

記入日	H28.7.1	担当者	渡邊
-----	---------	-----	----

重点3 社会福祉協議会組織の強化

3. 地区社協の機能強化

③ 自治会（町内会）、老人クラブ等の活動の洗い出しと役割の調整と見直し。

平成26年度事業の評価【2】  
フォローアップ内容：－

実施内容	27年度に、地区社協部会連絡会で、26年度11地区社協事業の年間計画をまとめ（22年度と比較）、それぞれの地区社協がどのような活動を行っているか事業内容についての意見交換を行った。各地区内での事業の見直しなど取り組み始めている地区もあるが、自治会や老人クラブとの役割の調整は継続して課題となっている。
進捗状況	地域包括ケアシステムの構築に向け、町と連携し、「地域福祉」の圏域の在り方、自治会や民生委員等との役割分担、各種の社会資源など、整理すべき事項を町と協議している。

記入日	H28.9.1	評価者	企画運営部会
-----	---------	-----	--------

評価	2	地区社協の年間活動計画は一覧表として可視化できているが、他団体事業の確認に至っておらず、各社会資源を統合したマップの作成が遅れている。
課題	地域資源マップの早期作成。	